

2026年 8 月吉日

関係各位

一般社団法人日本技術者連盟
会長 村上 雅人

『韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団』 派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段、大慶に存じます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
政府は2022年12月に「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」から成るいわゆる「安保3文書」を策定し、防衛力の抜本的強化、防衛生産・技術基盤の強化及びサプライチェーンの強靱化を推進してまいりました。さらに本年4月からは、急速に変化する安全保障環境を踏まえ、同文書改定に向けた議論が開始され、**防衛費の拡充、防衛装備移転の推進、先端技術活用の加速等が重要課題**となっております。

こうした中、韓国は政府主導のもと、防衛装備品の研究開発、量産、品質保証、輸出支援を一体的に進め、近年、世界有数の防衛装備輸出国として存在感を高めています。加えて、官民連携による迅速な意思決定、主要企業を中核とした産業基盤整備、海外市場を見据えた積極的な輸出戦略は、我が国にとっても大いに参考となるものです。

このため今般、韓国に調査団を派遣し、韓国政府関係機関、防衛関連企業等を訪問するとともに、**韓国最大級の防衛産業展示会であるKADEX2026**（韓国陸軍国際防衛産業展示会2026）を視察し、韓国における防衛産業政策、輸出戦略、先端装備動向及びサプライチェーン強化施策について知見を深めることを計画しております。

なお、日本技術者連盟が主催する米国及び欧州防衛産業等に関する調査団派遣は、これまで複数回実施し、いずれも大きな成果を挙げてまいりました。今回の韓国調査団につきましては、**公益財団法人防衛基盤整備協会 理事長 鎌田 昭良 氏**（元防衛省官房長、元防衛省装備施設本部長）が団長をお引き受けいただくこととなっております。

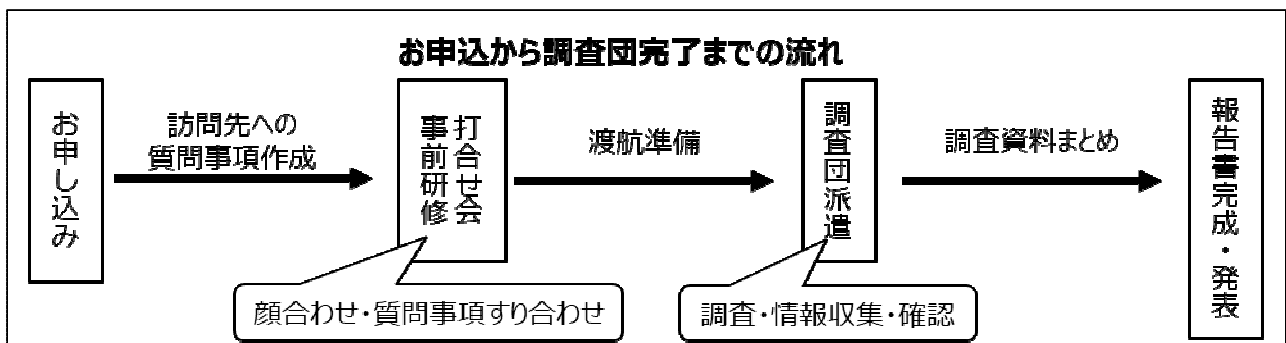
趣旨、調査項目、日程等の詳細につきましては、別添の参加要項をご高覧のうえ、ぜひご参加賜りますようお願い申し上げます。

敬具

韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団

団長： 鎌田 昭良氏

公益財団法人防衛基盤整備協会 理事長



『韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団』

派遣に伴うご案内

1. テーマ：『韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団』
2. 期 間： 2026年10月7日（水）～ 10月10日（土）4日間
3. 主 催： 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）
4. 後 援： 公益財団法人 防衛基盤整備協会
一般財団法人 防衛技術協会
5. 団 長： 鎌田 昭良（かまた あきら）氏 公益財団法人防衛基盤整備協会 理事長



■ 来歴

1980年 東京大学経済学部卒業
1980年 防衛庁入庁。防衛局運用第二課
1997年1月から同年12月 英国国防大学（RCDS）
1999年7月～2001年7月 資源エネルギー庁新エネルギー対策課長
2003年8月防衛庁官房広報課長
2004年7月防衛庁官房秘書課長
2006年7月防衛庁官房審議官兼情報本部副本部長
2007年9月防衛省沖縄防衛局長
2008年1月防衛省北関東防衛局長
2010年10月防衛省大臣官房報道官
2012年1月防衛省大臣官房長
2013年7月防衛省装備施設本部長
2014年7月退職
2014年11月東京海上日動火災保険株式会社顧問
2017年6月公益財団法人防衛基盤整備協会理事長

6. 調査項目：

- ①防衛産業戦略（欧州防衛産業戦略との関係性）
- ②防衛産業に対する支援政策
- ③防衛産業の現状と重点分野（サイバー防衛、ドローン、情報通信・暗号技術等）
- ④防衛生産基盤/技術基盤の強化とイノベーション（中小企業・スタートアップ・産学連携の役割）
- ⑤国家サイバー防衛戦略・政策
- ⑥情報セキュリティ制度とリスク管理システム
- ⑦防衛サプライチェーンの管理・調達体制
- ⑧その他

『韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団』

参加要項

1. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある中堅・中小企業及びスタートアップ企業関係者の皆様。

2. 募集人員： 15 名

3. 参加費： ¥ 850,000.-（税別・お申込金 50万円（消費税別）が含まれています）

4. 通訳・プロジェクトマネージャー：全行程同行

5. ホテル：一人部屋

6. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

7. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

8. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、 **2026年8月28日（金）までに**、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp） にてお申込み下さい。すぐに担当者より、ご連絡申し上げます。

- 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
（パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください）
- 名刺のコピー（和文と英文）
- メンバースト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも可能）。

9. 代金支払：一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

※ 稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承下さい。

「韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団」 日程表 案

2026年10月7日（水）～10月10日（土） 4日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	10/7 (水)	羽田発 ソウル着	NH861 地上交通	08:40 11:05	羽田国際空港 出発 ソウル/金浦国際空港着 ・防衛事業庁（DAPA / Defense Acquisition Program Administration）訪問 ソウル泊	機内食 昼 ○ 夕 ○
2	10/8 (木)		地上交通		・国防科学研究所（ADD / Agency for Defense Development） ・国防技術品質院（DTaQ / Defense Agency for Technology and Quality） ・韓国防衛産業振興会（KDIA / Korea Defense Industry Association） ・Hanwha Aerospace ソウル泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	10/9 (金)		地上交通		KADFX 2026 参加 ソウル泊	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	10/10 (土)	ソウル発 羽田着	NH864	12:40 14:20	ソウル/金浦国際空港 出発 羽田国際空港 到着	朝 ○

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団の訪問先リスト

1) 防衛事業庁 (DAPA / Defense Acquisition Program Administration)

- 【役割】： 日本の防衛装備庁に最も近い中核機関。装備取得、防衛産業育成、輸出促進、制度設計を担います。DAPA自身の説明でも、2006年設立以降、調達透明性・効率性・専門性向上、防衛産業支援、輸出促進を主要任務にしています。
- 【所在地】： 現在も果川 (Gwacheon) 政府庁舎が重要拠点で、公式記載では「47 Gwanmun-ro, Gwacheon-si, Gyeonggi-do」です。
一方で大田への移転が進んでおり、2027年完了計画が報じられています。
2026年10月時点では、果川と大田の双方を意識して調整するのが安全です。
- 【特徴】：
 - o 調達だけでなく輸出振興を強く持っている
 - o 政府主導で制度・資金・輸出政策を回す
 - o 企業の海外案件を国家戦略として後押しする色彩が強い
- 【日本との関係・学びどころ】：
 - o 日本のATLA比較で、輸出支援機能の強さ、官民一体の案件形成、パッケージ輸出を学ぶ価値があります。
 - o 2026年1月には日韓防衛相が防衛協力強化で一致し、AI・無人分野の協力も議題となっており、産業面でも中長期的な接点拡大余地があります。

2) 国防科学研究所 (ADD / Agency for Defense Development)

- 【役割】： 韓国防衛R&Dの中核。ミサイル、無人機、センサー、先端技術など、韓国の「装備輸出の源泉技術」を支える研究機関です。公式サイトでも、国防科学技術で陸海空を守ることを掲げています。
- 【所在地】： 大田広域市 儒城区。公式表示は「34186 Daejeon, Yuseong-gu, P.O. Box 35」。
- 【特徴】：
 - o 政府研究所として、企業の輸出製品の基盤技術を支える
 - o 大徳研究開発特区との近接性が高い
 - o 韓国の研究→試験→量産→輸出の流れを見る上で重要
- 【日本との関係・学びどころ】：
 - o 日本側としては、防衛装備の研究開発の官民接続、大学・研究拠点との連動、先端無人化分野の開発体制を学ぶ価値があります。

3) 国防技術品質院 (DTaQ / Defense Agency for Technology and Quality)

- 【役割】： 防衛装備の品質保証、品質管理、技術企画、技術情報管理を行う機関で、DAPA法に基づく専門機関です。公式説明でも、良質な軍需品取得のために検査・分析・評価・情報管理を体系的に実施しています。
- 【所在地】： 慶尚南道 晋州市 Dongjin-ro 420。
- 【特徴】：
 - o 国の輸出競争力の背景にある品質保証の仕組みを見られる
 - o 量産化前後の品質・認証・試験の考え方を把握できる
- 【日本との関係・学びどころ】：
 - o 日本企業やサプライヤーにとっては、防衛部品の品質保証体系、試験・認証、輸出先国要求への対応方法の比較対象として有益です。

4) 韓国防衛産業振興会 (KDIA / Korea Defense Industry Association)

- 【役割】： 韓国防衛企業の業界団体。KDIA系サイトでは750社超の会員企業を支援すると説明されています。
- 【所在地】： Seoul, Mapo-gu, Mapodaero 49, Sungwoo Building 13F。
- 【特徴】：
 - o 政府・企業の間で、会員企業支援、展示会、ネットワーキングを担う
 - o 個別大手企業訪問が難しい場合でも、韓国防衛産業全体の俯瞰説明を受けやすい窓口です。
- 【日本との関係・学びどころ】：
 - o 日本の工業会・団体が今後、輸出や部品協力を強化する際の比較対象として有望
 - o 共同セミナーや意見交換の入口になりやすいです。

5) Hanwha Aerospace

- 【分野】： 陸上装備、砲、推進、航空宇宙、システム全般
- 【拠点】： ソウルオフィスの表記は「86, Cheonggyecheon-ro, Jung-gu, Seoul」。また、過去のサステナビリティ資料ではChangwonに本社・工場、Asan工場、Pangyo R&D Center、Seoul Officeを持つと説明されています。
- 【特徴】：
 - o K9自走砲など、韓国防衛輸出の代表格
 - o 海外案件で現地生産・現地化・サプライチェーン形成を前面に出す傾向が強い
 - o 受注残高や輸出案件拡大の象徴的企業です。
- 【日本との関係・学びどころ】：
 - o 防衛産業の量産体制、輸出営業、オフセットや現地化戦略、部品・保守網の作り方を学ぶ上で有力です。

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 会議参加費及び施設等見学費
- 団長・通訳・プロジェクトマネージャー同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

キャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後～旅行開始日の31日前まで：申込金50万円（税別）に加え、航空券・宿泊・現地手配等に要した取消料の実費。
- 旅行開始日の30日前～3日前まで：参加費の50%、及び企画手配料30万円。ただし、航空券や現地地上手配等の取消料の実費が参加費の50%を超える場合は、当該実費総額を優先して適用します。
- 旅行開始日の前々日以降：参加費の100%（全額）
- ※戦争、内乱、テロ、自然災害等の不可抗力により、当事務局が催行中止を判断した場合、あるいは参加者が渡航不能となった場合においても、すでに発生している航空会社・ホテル等へのキャンセル料実費、および企画手配料については、参加者のご負担となります。

その他

- ◆ 参加費は、2025年12月18日時点の運賃の10名の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用や参加条件が変更になる可能性もございますので予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、前芝浦工業大学学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

お申込日

年

月

日

韓国における防衛産業とサプライチェーンの強靱化調査団
参加申込書

一般社団法人日本技術者連盟　行き

フリガナ					
会社名・団体名					
所属名/役職名					
フリガナ					
参加者氏名		生年月日		西暦	年　　月　　日
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)			
E-mail		携帯電話番号			
勤務先	ご住所	〒　　　－			
	電話番号	FAX番号			
ご自宅	ご住所	〒　　　－			
	電話番号				
フリガナ					
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方		印			
所属名/役職名					
電話番号/E-mail					
旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）					
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦	年	月　　日
② いいえ	取得予定日	年	月	日	
強いアレルギーなど ございますか	なし ・ あり （ ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください)				
語学力	英語について (	問題あり・なし、TOEFL点数など)	英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ (	)	
通信欄 ご質問・ご希望等	マイルージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）				

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。
ア、ご本人の同意がある場合
イ、旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。
ウ、法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL：03-6229-1950
FAX：03-6229-1940